

EMC入門セミナー

EMC規格とノイズ対策技術

ノイズ対策は大丈夫？基礎から学ぶEMC

令和7年5月27日(火)・28日(水)
全2日間 13:00～17:00

電子機器を開発する際、ノイズに関するEMC試験や対策技術は必須のものとなってきています。しかしながら、商品開発・設計とは違い、ノイズは広範、意図しない電磁現象を相手にするため、どうしてもある程度の電磁気学の理解が必要になります。また、EMC試験に合格するためには、どのようなノイズをどう試験するのか、を理解した上で、設計段階からその対策を図面に入れておかなければ、製品化直前に苦労します。

本講座では、ノイズとは何か、といった基本から説き起こし、数式を極力使わないノイズの物理を解説した後、EMC試験の概要と、対策技術を学んで行きます。仕上げには、電子機器のノイズ対策として最も重要な、プリント基板上のノイズ対策も解説します。

▶ こんな方におすすめ

EMCに関する概要を知りたい方 電子機器の設計、開発、製造に関わる方

▶ 会 場 オンライン(Zoom)

▶ 受講料 19,000円(税込、テキスト代込)

▶ 締切日 5月7日(水)

▶ 講 師 倉西 英明(倉西技術士事務所)

カリキュラムについては裏面をご確認ください

申込はHPをご覧ください

<https://www.kistec.jp/learn/emcintro/>



▼お問合せ

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所 人材育成部 教育研修課 産業人材研修グループ

TEL:046-236-1500 E-mail:sm_sangyoujinzai@kistec.jp

カリキュラム

第1日目 5/27(火)

【13:00～15:00】

1 ノイズの基礎とEMC

1.1 ノイズとは何か

1.1.1 電磁エネルギーとその出入り

1.1.2 ノイズの定義

1.1.3 電子機器の干渉とEMC

1.1.4 エミッションとイミュニティ

1.1.5 ノイズの時間的特性

1.1.6 ノイズの伝達経路

1.2 ノイズの物理

1.2.1 物理の話に入る前に

1.2.2 ノイズと物理法則

1.2.3 交流の基礎知識

1.2.4 交流とスペクトル

1.2.5 見えないLとC

1.2.6 共振現象

1.2.7 電磁波の発生とアンテナ

1.2.8 伝送線路

1.2.9 ノイズ問題のGNDとは

1.3 ノイズの計測・評価

1.3.1 ノイズ計測とデシベル

1.3.2 スペクトル測定

1.3.3 電波暗室とレシーバ

【15:00～17:00】

2 EMC試験の概要

2.1 エミッション試験

2.1.1 雑音端子電圧

2.1.2 雑音電界強度

2.1.3 電源高調波

2.1.4 フリッカ

2.2 イミュニティ試験

2.2.1 静電気放電

2.2.2 放射イミュニティ

2.2.3 ファーストトランジエント/バースト

2.2.4 雷サージ

2.2.5 伝導イミュニティ

2.2.6 電源周波数磁界

2.2.7 電源電圧ディップ・瞬停

第2日目 5/28(水)

【13:00～15:00】

3 ノイズ問題の方法論と技術論

3.1 ノイズ問題の方法論

3.1.1 素早く原因を掴むコツ

3.1.2 再現性を確保する手法

3.2 ノイズ問題の技術論

3.2.1 発生源を抑える

3.2.2 伝達経路を断つ

3.2.3 アンテナを作らない

3.3 設計時の対策技術

3.3.1 回路設計

3.3.2 機内・機外ケーブル

3.3.3 フレーム・筐体

3.3.4 既製品・外部設計品

3.4 設計後の対策技術

3.4.1 磁性コア類

3.4.2 フィルタ

3.4.3 シールド・GND強化部材

【15:00～17:00】

4 プリント基板のノイズ設計

4.1 プリント配線の基礎

4.1.1 基板とノイズ

4.1.2 基板パターンと伝送線路

4.1.3 信号とリターン経路

4.1.4 電源層・GND層

4.2 部品配置の要点

4.2.1 パワエレ回路の配置

4.2.2 高速回路の配置

4.2.3 対策部品の配置

4.3 配線設計の要点

4.3.1 クロックの配線

4.3.2 電源周りの配線

4.3.3 高速信号の配線

4.3.4 外部接続周りの配線